

平成 22 年度県内発掘調査の概要

平成 22 年度に県内で行われた発掘調査は、県主体事業が 12 件、市町主体事業が 16 件の計 28 件でした。このうち、工事に伴う緊急調査は 14 件、整備や範囲確認のための調査が 14 件です。昨年度に比べて総件数が減少しているほか、緊急調査の割合も減少し、調査規模も縮小傾向にあります。

嶺南地域では、明神山古墳群（敦賀市）、興道寺廃寺・国吉城址関連遺跡（美浜町）、武田氏館跡関連遺跡（小浜市）など、地域を代表する遺跡の調査が注目されます。嶺北地域でも、開発に伴う緊急調査が減少する中、長期的に調査が続けられている白山平泉寺旧境内（勝山市）や一乗谷朝倉氏遺跡（福井市）に加え、番城谷山 5 号墳（越前町）、今北山・磯部・弁財天古墳群（鯖江市）、岡本山古墳群（越前市）など、地域の中核的な古墳群の調査が目立つようになりました。今後、このように各地域において重要な意味を持つ遺跡について、その実態を明らかにしていくことが期待されます。

この発掘調査報告会でも、一般の皆様にも少しでも分かりやすく、調査成果の紹介ができるよう努力していきたいと思っております。

